

下伊那南部地域公共交通対策協議会

平成20年3月27日設置
平成21年2月19日連携計画策定



概要

当地域における交通不便者は、主に70歳以上の高齢者並びに高校生である。その交通不便者の利用目的は、通院及び通学が主なものである。広域的な交通手段は、JR飯田線及び信南交通株式会社が運行する路線バスの阿南線、売木線、また、天龍村が運行する村営バスなどであったが、平成19年に信南交通株式会社が路線バスからの撤退を表明したため、この地域の住民の生活圏である飯田市中心部までの移動手段を確保し、当地域住民の生活確保や過疎化に歯止めをかけるために平成20年3月に「下伊那南部地域公共交通対策協議会」を設立し、下伊那南部地域公共交通総合連携計画を策定した。

この計画に基づき、平成21年度から23年度までの3年間をかけて路線バスの実証運行を行い、計画的かつ効率的・効果的な運行を確保するものである。

実証運行2年目の平成22年度においては、平成21年度の実証運行結果を踏まえて、JR飯田線の温田駅及び川路駅での電車との接続便を増やしたり、飯田市内の病院や飯田駅まで行けるように路線を延長して、利用者の利便性向上を図るためのダイヤを編成して実証運行に取り組んでいる。

○路線バスの運行

南部地域の基幹路線の阿南線及び主要路線の温田線、泰阜線を路線バスで実証運行し、交通不便者の利便性の向上を図る。

○路線バス車両購入整備

阿南線、温田線で使用するためのバス車両を購入し、交通不便者の利便性の向上を図る。

○公共交通サービスに関する情報提供

阿南線、温田線、泰阜線のバス路線及びJR飯田線の交通マップを作成し、利用促進を図る。

